

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 467

政策体系	36	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 商工観光課
会計	一般会計	科目	7.商工費 - 1.商工費 - 2.商工振 現年		
事業名	中心市街地商業活性化事業				
細事業名	中心市街地商業活性化事業				
評価表作成者				農林商工部 商工観光課	大谷 洋史

1. 事業の概要

中心市街地のにぎわい創出のため、まちづくり、にぎわい創出の担い手となる人材育成、市民参画を得るためのフォーラムの開催など商工会やNPOと連携しまちなかの活性化事業を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

衰退傾向にある中心市街地の再生に取り組む事で、都市機能と経済の拡大再生産できるようににぎわいの市街地を実現する。

② 事業を実施する必要性

景気の停滞、社会環境の変化により中心市街地が衰退している。市の経済や文化の中心である「まちなか」の活性化がこれからの持続可能なまちづくりの根幹であり、豊かな市民生活の向上に欠かせないものである。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円			209	309	5,000	5,000	5,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			209	309	5,000	5,000	5,000
職員等の従事人員		人/年	—		0.57	0.40			
人件費		千円	—		3,731	2,948			
事業費総額		千円	—		3,940	3,257			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

にぎわい創出に関する調査・研究事業 210,000円
 （にぎわいカフェミーティング、町家フォーラム開催等）

5. 事業結果の概要

市民の持つ中心市街地のイメージとこれからの中心市街地に求められるイメージを調査し、にぎわいの創出に向けワークショップを行った。「にぎわいに関する市民の声」を聞く、「新たなコミュニティーづくり」、そして「にぎわい創出の人材育成」といった活動から、にぎわいビジョン提言の成果が得られた。

6. 活動の詳細

協働		
中心市街地に対する市民の声を聴き、まちなかににぎわいを呼び込むための調査・研究とそれを受けての計画づくり。	通年	「にぎわい創出ビジョン」提言を受けての推進委員会の設置準備。

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

提言を受け、市が先導的な役割を果たしながら総合振興計画にある「にぎわいの市街地をつくる」という基本計画を実行するという観点から中心市街地活性化推進委員会を市、商工会、NPO法人（提言者）で組織し、具体的な計画を立案し可能なものから具体化して実施していく方針が決定された。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

本年初めての取り組みであり、衰退化する公共性・公益性の高い中心市街地の持続的な発展を目的とした事業で、担い手人材育成、市民参画を得るためNPO法人「にぎわいコンソーシアム園部」と共に、まちづくり、にぎわいづくりに何が必要か、市民の声を聞き市民が提案する場づくり『にぎわいカフェミーティング園部』等の取り組みは有効であった。

今後は中心市街地のもつ、ひと・もの・歴史文化などの地域資源を利活用したまちづくりと商業振興の両面から中心市街地のにぎわい創出を具現化する。

■平成21年度の所属長評価